

農業の新しい技術

No. 765

(令和7年(2025年)6月)

分類コード 01-14

熊本県農林水産部

褐毛和種種雄牛「幸弦光」の選抜

農業研究センター 畜産研究所生産基礎技術研究室

担当者：福島敬太

研究のねらい

産肉能力直接検定で選抜された種雄牛の遺伝的能力を推定するため、産肉能力現場後代検定及び育種価評価を実施し、その結果に基づき優秀な種雄牛を選抜する。

研究の成果

1. ばらの厚さの能力に優れた褐毛和種種雄牛「幸弦光」を選抜した。

○血統

父 幸泉 (高 92)	祖父 波泉(繁殖 116)	— 光玉波(高 80)
	祖母 ゆきみ☆☆(育高 739)	— 第十四光重(高 83)
母 第6 さかえ (育高 911)	祖父 第四弦光(高 88)	— 第四光重(高 82)
	祖母 第3 さかえ(繁殖 16894)	— 第三光重(繁殖 29)

○登録番号：繁殖 2 4 2

○生年月日：令和元年 8 月 1 8 日

○生産地：阿蘇郡南阿蘇村（後藤 晴雄 氏）

2. 現場後代検定成績および育種価

○ばらの厚さは去勢が 8.5cm、全体平均が 8.2cm でいずれも歴代トップクラスの成績となり、育種価でも 0.82(評価種雄牛 548 頭中 12 位)と高い評価となった。

○SBV※は、ばらの厚さが 1.29 と肉量の改良効果が大きいと推定される。

※SBV（標準化育種価）とは、産肉能力の特徴を把握しやすくするため、各形質の育種価を同一スケール上で比較できるよう加工したもの。

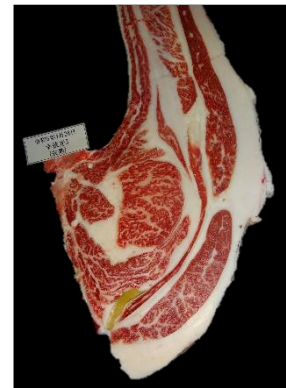
3. 特徴

本牛は、脂肪交雑の育種価ランクが県内上位 10%以内（当時）であった母牛とロース芯面積と脂肪交雑に優れる「幸泉」との交配により作出された。現場後代検定では、ばらの厚さの成績に優れ、去勢、全体平均で歴代トップクラスの成績であった。このことから本牛は、「幸泉」の後継牛として肉量の面で改良への貢献が期待される。



幸弦光（ゆきつるみつ）

幸弦光産子（去勢）の
枝肉写真及び枝肉成績



格付け：A-4 枝重：569.4kg
BMS：5 ロース：64cm²
ばら 9.4cm 母の父：春山都

表1 現場後代検定成績

区分	頭数	枝肉重量 (冷と体) (kg)	BMS No.	ロース 芯面積 (cm ²)	ばらの 厚さ (cm)	皮下脂肪 の厚さ (cm)	歩留 基準値 (%)	日齢枝肉 重量 (g)
去勢	12	524.5	4.2	57.8	8.5	3.2	73.1	686.4
雌	7	477.9	3.9	53.7	7.8	3.1	72.9	619.1
全体	19	507.4	4.1	56.3	8.2	3.2	73.0	661.6

表2 育種価(BV) (R7.3月評価)

	順位	育種価	(正確度)
枝肉重量 (kg)	66	24.64	0.91
BMS No.	48	1.94	0.93
ロース芯面積 (cm ²)	76	4.25	0.90
ばらの厚さ (cm)	12	0.82	0.90
皮下脂肪の厚さ (cm)	82	-0.47	0.93
歩留基準値	41	1.17	0.92
日齢枝肉重量 (kg/日)	69	31.56	0.91

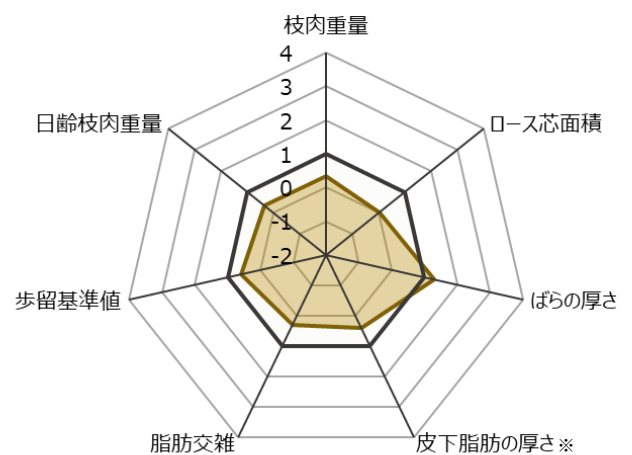


図1 SBV (標準化育種価)

※ 皮下脂肪は逆符号

後代頭数 26 頭(フィールド成績を含む)

順位は評価種雄牛 548 頭中の順位